

東京外国為替市場委員会 第 140 回会合 議事録

開催日時 2011 年 3 月 23 日 13 : 00～14 : 00
場 所 日本銀行本店 新館 9 階中会議室
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
副 議 長 梨本 忠彦
書 記 竹内 淳
出席委員 19 名

I. 委員の任期満了・再任について

星野議長より、大木委員の任期（2 年）が満了することが報告されました。大木氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. 小委員会報告

1. 運営小委員会

井上小委員長より、本日の議題について話し合われた旨報告がありました。委員の任期満了・再任の上申や、震災時対応、サーベイの実施に関する連絡などが議題として提案されたとの報告がありました。

2. 教育小委員会

河野小委員長より、2 月 21 日に開催したフォレックスクラブと合同のセミナーの報告がありました。

3. 決済小委員会

小松小委員長より、東京証券取引所との外為 CCP に関する共同勉強会において、米国においてフォワードや為替スワップ取引が CCP 義務付けの対象から外れる可能性がある中で、検討対象の商品を NDF や通貨オプションに絞ることとなった旨の報告がありました。

4. 市場調査小委員会

中野副議長より、例年通り、4 月の取引に関して外為市場サーベイを実施する予定であること、また本タイミングで、金融先物取引業協会にも、外為証拠金業者の取引状況につきサー

ベいの協力を依頼したことにつき、報告がありました。

5. BCP 小委員会

葛原準委員より、3月11日の震災時のBCP対応について報告がありました。

BCP Web を通じた業務状況の把握については、各社の被災状況のウェブサイトへのフィードバックに遅延がみられたことや、ログインをしないと他社状況が把握できないため速やかな情報把握が難しかったことが指摘されました。今後BCPウェブサイトの利便性向上に向けて、改善案を検討するべきとの意見が示されました。

また、外為取引業務の継続性を把握する目的で、各行のバックアップ拠点の設置状況について、緊急にアンケートを行ったことが報告されました。アンケートの集計結果にもとづき、災害の影響が広域に及ぶ場合にも約定・決済業務の継続を行うためには、バックアップサイトの所在地をより多様化していくことが必要になるとの意見が示されました。

6. NDF 慣行整備小委

廣田小委員長より、NDF取引に関する市場慣行整備に関して、投資信託業協会にもヒアリングを実施する予定であることが報告されました。

7. その他

星野議長より、震災を受けた市場の動きや市場参加者の対応について、状況の取り纏めを行い、今後への教訓を引き出したいとの意見が示されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (3月23日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○竹内 淳	(日本銀行)
運営小委員長	○井上 英明	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソース・ジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウ・フレックス上田ハーロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	○広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
古賀 麻衣子	(日本銀行)

<オブザーバー>

河西 修	(財務省)
------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。